

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) |
|--|---|---|---|--------------------------------|------------------|---------|---|---------------------------------|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | | |
| コンパクト・プラス・ネットワークの形成 | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | | |
| | <p>＜①コンパクト・プラス・ネットワークによる集約・活性化や施設の効果的・効率的な維持管理・更新＞</p> <p>【不動産情報の充実等による既存住宅・空き家等の流通活性化】</p> | | | | | | | |
| | <p>中心市街地の土地・資産の流動性を高めて有効利用を進め、投資や円滑な買換を促すため、不動産情報の充実等により既存住宅・空き家等の流通を活性化</p> | | | | 改革期間を通じ、同様の取組を実施 | | インスペクションを受けた既存住宅売買瑕疵保険の加入割合 【目標：2025年までに20%】 | 既存住宅流通の市場規模 【目標：2025年までに8兆円】 |
| | <p>民間の2次活用に役立つ不動産関連情報等のオープンデータ化等</p> | | <p>宅地建物取引業法の重要事項説明に建物状況調査(インスペクション)の実施の有無等を位置付け</p> <p>不動産取引のプロである宅建業者が、専門家による建物状況調査(インスペクション)の活用を促すことで、売主・買主が安心して取引ができる市場環境を整備</p> | | | | | |
| 《国土交通省》 | | | | | | | | |
| <p>【都市計画道路等に関する課題の点検、見直し】</p> | | | | | | | | |
| <p>審議会における検討の開始(2016年度)</p> | | <p>・都市計画に関する諸課題について検討する中で、都市計画道路見直しについて、地域ごとの実情を把握した上で、推進方策の取りまとめを行う</p> <p>・まちづくりの過去の取組事例について、効果、課題などを分析<再掲></p> | | 地方公共団体の取組状況を踏まえ、引き続き見直し推進方策を検討 | | | | |
| <p>都市計画道路見直しの実績のある地方公共団体から収集した具体的な進め方を整理し、手引きを発出</p> | | <p>手引きの周知等を行い、先進事例の横展開を推進</p> | | | | | | |
| 《国土交通省》 | | | | | | | | |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) | |
|--------------|---|--|------------------------------------|------|--------|---------|--|--|--|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | | | |
| | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | | | |
| 公共施設のストック適正化 | <p>＜②地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割＞</p> <p>＜③地方公共団体における固定資産台帳、統一的な基準による地方公会計の整備＞</p> <p>【公共施設等総合管理計画等の策定促進】</p> <p>■地方公共団体が策定する公共施設等総合管理計画等について、特別交付税措置等によりその策定を支援</p> | | | | | | | | |
| | <p>計画策定経費への特別交付税措置等(2014年度～2016年度)による計画策定の支援 《総務省》</p> | | | | | | | | |
| | <p>公共施設等総合管理計画は、公共施設等の現況及び将来の見通し(老朽化の状況や利用状況をはじめとした公共施設等の状況、総人口や年代別人口についての今後の見通し、公共施設等の維持管理・修繕・更新に係る中長期的な経費の見込みやこれらの経費に充当可能な財源の見込み等)を踏まえて策定するよう引き続き促進 《総務省》</p> | <p>長寿命化、集約化・複合化等の取組の進捗や個別施設計画の策定を踏まえた継続的な公共施設等総合管理計画の見直し・充実化を促進 (対象期間をできるだけ中長期とすることや、広域での取組推進等のための都道府県の役割など、公共施設等総合管理計画の改訂に当たっての留意点を2017年度に通知)</p> | <p>引き続き、公共施設等総合管理計画の見直し・充実化を促進</p> | | | | <p>公共施設等総合管理計画を策定した地方公共団体数 【目標：2016年度末までに100%】</p> | | |
| | <p>公共施設等総合管理計画を策定(～2016年度) 《地方公共団体》</p> | | | | | | | <p>個別施設(道路、公園など各施設)ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 【目標：2020年度末までに100%】</p> | |
| | <p>地方公共団体が策定する個別施設計画において、計画期間内に要する対策費用の概算等を整理するよう促すとともに、個別施設計画の策定に必要な技術的支援等を実施(2013年度～2020年度) 《関係省庁》</p> | | | | | | | | |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) | |
|--|--|---|--------|------|---|---|--|---------------|--|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | | | |
| 公共施設のストック適正化 | 通常国会 | 概算要求 | 年末 | 通常国会 | | | | | |
| | <p>＜②地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割＞</p> <p>＜③地方公共団体における固定資産台帳、統一的な基準による地方公会計の整備＞</p> <p>【公共施設等総合管理計画等の策定促進】</p> <p>■地方公共団体が策定する公共施設等総合管理計画等について、特別交付税措置等によりその策定を支援 (施設の集約・複合化や事業の広域化を促すガイドライン等の策定・周知)</p> | | | | | | | | |
| | ○上水道 | | | | | | | | |
| | 上水道については、計画的な施設更新に向け事例や手引き等の周知や、新水道ビジョン推進に関する地域懇談会等の機会を通じて先進事例等の情報共有を図り、水道事業者の取組を促進 | 引き続き先進事例等の情報共有を図るとともに、都道府県を推進役とする広域連携や持続可能な水道事業とするための適切な資産管理等を推進 | | | | 個別施設計画(水道事業ビジョンを含む)の策定状況や、水道事業の広域連携の進捗状況を踏まえ、引き続き水道事業の持続性の確保のための支援策を講ずる | | | |
| | 《厚生労働省》 | | | | | | | | |
| | ○汚水処理施設 | | | | | | | | |
| | 汚水処理施設については、地方公共団体への説明会を開催し、都道府県構想の見直しを要請 | <ul style="list-style-type: none"> 施設の統廃合や処理区域の再編等を含む効率的な汚水処理施設の整備及び運営管理を実現するため、全都道府県における都道府県構想の見直しを推進 改正下水道法に基づく、広域的な連携に向けた協議会の活用を含め、広域化の取組を支援 | | | | 個別施設計画や都道府県構想の策定状況、及び汚水処理事業の広域化の進捗状況を踏まえ、引き続き汚水処理事業の持続性の確保のための支援策を講ずる | | | |
| | 《国土交通省、農林水産省、環境省》 | | | | | | | | |
| | ○廃棄物処理施設 | | | | | | | | |
| | 廃棄物処理施設については、一般廃棄物処理事業実態調査の結果を踏まえた広域化に関する考え方や推進策・具体的な事例を取りまとめ、地方公共団体に示すこと等により、地方公共団体における広域化・集約化のための技術的な支援を実施 | | | | | 個別施設計画の策定状況や広域化や集約化等の取組状況を踏まえ、引き続き必要な支援策を講ずる | | | |
| 《環境省》 | | | | | | | | | |
| ○学校施設・文化施設・社会教育施設・スポーツ施設 | | | | | | | | | |
| 学校施設については、手引の策定・周知や、統合を決定した学校への教員定数の加配措置等により、適正規模や適正配置に関する地方公共団体の取組を促進 | 引き続き、委託研究により統合による魅力ある学校づくり等のモデル創出に取り組むとともに、学校規模の適正化の好事例を周知し、地方公共団体の取組を促進 | | | | 他の地方公共団体の参考となる学校規模の適正化等の取組を把握し、引き続き必要な支援策を講ずる | | | | |
| 《文部科学省》 | 学校施設については、計画策定に係る解説書の周知や個別施設計画策定支援事業、計画の策定状況の把握により、個別施設計画の策定を促進 | | | | 引き続き、個別施設計画の策定状況を把握しつつ、個別施設計画策定中の地方公共団体を中心に必要な支援策を講ずる | | | | |
| | 文化施設・社会教育施設については、個別施設計画の策定状況の把握や相乗効果の高い集約化・複合化等の先進事例の収集・横展開を実施 | | | | 引き続き、個別施設計画の策定状況や他の地方公共団体の参考となる集約化・複合化等の取組を把握しつつ、個別施設計画策定中の地方公共団体を中心に必要な支援策を講ずる | | | | |
| | スポーツ施設については、個別施設計画の策定状況の把握やガイドラインによる技術的な支援や先進事例の収集・横展開を実施 | | | | 引き続き、個別施設計画の策定状況や他の地方公共団体の参考となる集約化・複合化等の取組を把握しつつ、個別施設計画策定中の地方公共団体を中心に必要な支援策を講ずる | | | | |
| 《文部科学省》 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | 個別施設(道路、公園など各施設)ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率【目標：2020年度末までに100%】 | | |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) |
|------------------|--|---|--------|------|--|---------|--|---------------|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | | |
| | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | | |
| 公共施設の ストック適正化 | <p>＜②地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割＞</p> <p>＜③地方公共団体における固定資産台帳、統一的な基準による地方公会計の整備＞</p> <p>【公共施設等総合管理計画等の策定促進】</p> <p>■地方公共団体が策定する公共施設等総合管理計画等について、特別交付税措置等によりその策定を支援 (施設の集約・複合化や事業の広域化を促すガイドライン等の策定・周知)</p> | | | | | | | |
| | ○都市公園 | 都市公園については、都市機能の向上等に資する都市公園のストック再編の推進に向けて、「都市公園のストック効果向上に向けた手引き」(2016年5月策定)を周知 | | | 個別施設計画の策定状況や他の地方公共団体の参考となる先進的な複合化等の取組を把握し、引き続き必要な支援策を講ずる | | | |
| | | 《国土交通省》 | | | | | | |
| | ○公営住宅 | 公営住宅については、建替えの機会を捉えた再生・再編や民間住宅ストックの活用等に関する地方公共団体の具体的な取組事例を2016年度中に取りまとめ、ガイドラインとして2017年度に周知 | | | 個別施設計画の策定状況や他の地方公共団体の参考となる先進的な複合化等の取組を把握し、引き続き必要な支援策を講ずる | | | |
| | | 《国土交通省》 | | | | | | |
| | ○農業水利施設等 | 農業水利施設、林道施設、治山施設及び漁港施設については、予防保全による長寿命化や効率的な施設の集約化等を含む実効的な個別施設計画の策定のため、ガイドライン等による技術的な支援に加え、計画策定等にかかる費用への財政的な支援を実施 | | | 個別施設計画の策定状況や他の地方公共団体等の参考となる集約化等の取組を把握し、引き続き必要な支援策を講ずる | | | |
| | 《農林水産省》 | | | | | | | |
| ○その他の施設分野 | 広域的・分野横断的な集約化・複合化等の先進的な取組事例を把握し、必要に応じてガイドラインや事例集の見直しや先進事例の横展開などを実施し、実効的な個別施設計画の策定を支援 | | | | | | | |
| | 《関係省庁》 | | | | | | | |
| | 個別施設計画の策定支援(～2020年度) | | | | | | | |
| | 《関係省庁》 | | | | | | | |
| | | | | | | | 個別施設(道路、公園など各施設)ごとの長寿命化計画(個別施設計画)の策定率 【目標：2020年度末までに100%】 | |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) |
|--------------|---|-----------------|--------|--------|---------|---|---------------|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | |
| | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | |
| 公共施設のストック適正化 | <p>＜②地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割＞</p> <p>＜③地方公共団体における固定資産台帳、統一的な基準による地方公会計の整備＞</p> <p>【公共施設に関する情報の「見える化」】</p> <p>■ 地方公共団体の保有する公的ストックの状況を「見える化」し、その適切な利用を促す。</p> | | | | | | |
| | <p>固定資産台帳を含む統一的な基準による地方公会計の整備 (～2017年度)</p> | | | | | | |
| | <p>各種研修の実施により地方公共団体を支援</p> <p>《総務省》</p> | | | | | | |
| | <p>標準的なソフトウェアの提供</p> <p>《総務省》</p> | | | | | | |
| | <p>財政状況資料集において、2015年度決算より、固定資産台帳の整備に合わせて、以下の項目について、経年比較や類似団体比較を実施した上で、わかりやすくグラフを用いて図示するとともに、各団体の分析コメントを付して公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有資産全体の有形固定資産減価償却率 ・施設類型ごとの有形固定資産減価償却率及び一人当たり床面積等 ・一人当たりの投資的経費の内訳(既存施設更新・新規施設整備)、維持補修費も含めた決算情報 <p>《総務省》</p> | | | | | | |
| | | | | | | <p>固定資産台帳を含む統一的な基準による地方公会計を整備した地方公共団体数</p> <p>【目標：2017年度末までに100%】</p> | |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) |
|--|---|-----------------|--------|------|--------|---------|---------------|---------------|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | | |
| | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | | |
| 公共施設のストック適正化 | <p>＜②地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割＞</p> <p>＜③地方公共団体における固定資産台帳、統一的な基準による地方公会計の整備＞</p> <p>【公共施設等総合管理計画等の具体化促進】</p> <p>■事業債の活用により地方公共団体が行う公共施設の集約化・複合化等を具体的に支援。</p> | | | | | | | |
| | <p>除却事業に係る地方債(2014年度～)による施設の除却支援 《総務省》</p> | | | | | | | |
| | <p>公共施設最適化事業債(2015～17年度)による集約化・複合化支援</p> | | | | | | | |
| | <p>地域活性化事業債(2015～17年度)による転用支援 《総務省》</p> | | | | | | | |
| | <p>■ 地方公共団体による公共施設の集約化・複合化を含む老朽化対策を促進するための支援を講じる。</p> | | | | | | | |
| | <p>民間資格の登録制度の創設や国・地方公共団体の施設管理者が一堂に会する会議の開催、包括的民間委託や広域的な維持管理の発注の導入に向けた検討の推進等を実施 《国土交通省》</p> | | | | | | | |
| | <p>民間事業者を活用した効率的な維持管理を引き続き促進する</p> | | | | | | | |
| | <p>・ 維持管理に関する基準・マニュアルの整備や、研修の充実・強化などの技術支援 ・ 予防保全や維持管理の効率化に資する新技術、ICTの開発・導入等の国における長寿命化の取組について、地方公共団体の老朽化対策にも導入されるよう技術的支援を実施 《関係省庁》</p> | | | | | | | |
| | <p>効率的な維持管理の取組状況を踏まえ引き続き必要な方策を講ずる</p> | | | | | | | |
| | <p>・ 防災・安全交付金における長寿命化計画の策定要件化などにより、老朽化対策を財政的に支援 ・ 計画の策定要件化や予防保全、広域化、集約化・複合化等への重点配分など、それぞれの公共施設等の状況や特性に応じた方策により、その他の分野においても老朽化対策を財政的に支援 《関係省庁》</p> | | | | | | | |
| <p>計画的な老朽化対策の進捗状況を踏まえて引き続き必要な方策を講ずる</p> | | | | | | | | |
| <p>道路橋等における直轄診断(2014年度～)や道路管理者からの要請に基づく修繕代行業や大規模修繕・更新補助事業(2015年度～)を実施・支援 《国土交通省》</p> | | | | | | | | |
| <p>計画的な老朽化対策の進捗状況を踏まえて引き続き必要な方策を講ずる</p> | | | | | | | | |
| <p>施設の集約化・複合化等を実施(公共施設最適化事業債等を活用)した地方公共団体数 【目標：－】</p> <p>※目標値の設定は行わず、施設の集約化・複合化等を実施した地方公共団体数の変化をモニターする</p> | | | | | | | | |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) |
|--|--|-----------------|----|--------|--------|---------|--------------------|---|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | | 2018年度 | | | | |
| 公共施設のストック適正化 | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | | |
| | <p>＜②地方公共団体による公共施設等総合管理計画の策定促進と、ストック適正化に向けた国の積極的な役割＞</p> <p>＜③地方公共団体における固定資産台帳、統一的な基準による地方公会計の整備＞</p> <p>■ 総合管理計画の進捗状況や推進に当たっての課題をモニターする仕組みの構築</p> | | | | | | | |
| | <p>将来の人口の見通しや維持管理・更新・修繕等の経費の今後の推計、延床面積に関する目標などの総合管理計画の主たる記載項目を、有形固定資産減価償却率や毎年度の取組内容と併せて横比較できるように各地方公共団体分を統合したものを総務省ホームページで公表</p> | | | | | | | |
| | <p>各地方公共団体の総合管理計画の改訂の有無等を毎年度調査・公表</p> | | | | | | | |
| | <p>・財政状況資料集において、2015年度決算より、固定資産台帳の整備に合わせて、以下の項目について、経年比較や類似団体比較を実施した上で、わかりやすくグラフを用いて図示するとともに、各団体の分析コメントを付して公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所有資産全体の有形固定資産減価償却率 ・施設類型ごとの有形固定資産減価償却率及び一人当たり床面積等 ・一人当たりの投資的経費の内訳(既存施設更新・新規施設整備)、維持補修費も含めた決算情報 ・有形固定資産減価償却率については、将来負担比率とも組み合わせ、経年比較や類似団体比較を行うことで、将来に向けた財政負担も踏まえた老朽化対策の進捗状況を「見える化」 <p>《総務省》</p> | | | | | | | |
| <p>■ 公共施設の集約・再編、廃止等の状況を点検する仕組みの構築</p> | | | | | | | | |
| <p>個別施設計画等に基づく集約・再編、廃止等の状況を点検する仕組みを構築</p> <p>仕組みに基づき取組状況を毎年度点検</p> <p>《関係省庁》</p> | | | | | | | | |
| | | | | | | | 有形固定資産減価償却費率【目標：-】 | (再掲) 施設の集約化・複合化等を実施(公共施設最適化事業債等を活用)した地方公共団体数【目標：-】 |
| | | | | | | | — | ※目標値の設定は行わず、施設の集約化・複合化等を実施した地方公共団体数の変化をモニターする |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) | |
|---|---|-----------------|--------|------|--------|---------|---|---------------|--|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | | | |
| 国 有 資 産 の 適 正 化 | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | | | |
| | <p><④ 国公有財産の最適利用を加速、国公有地の未利用地の売却・有効活用の推進> 【公共施設等総合管理計画等の具体化促進および国公有資産情報の「見える化」】 ■ 地方公会計の整備等により、国公有資産の「見える化」を支援</p> | | | | | | | | |
| | <p>1) 国有財産の「見える化」</p> | | | | | | | | |
| | <p>国有財産は、原則として全ての資産情報(売却予定、貸付募集を含む)を公開</p> | | | | | | | | |
| | <p>《財務省》</p> | | | | | | | | |
| | <p>2) 地方公共団体が保有する資産の「見える化」の促進</p> | | | | | | | | |
| | <p>固定資産台帳を含む統一的な基準による地方公会計の整備(～2017年度)</p> | | | | | | | | |
| | <p>各種研修の実施により地方公共団体を支援</p> | | | | | | | | |
| | <p>《総務省》</p> | | | | | | | | |
| | <p>標準的なソフトウェアの提供</p> | | | | | | | | |
| <p>《総務省》</p> | | | | | | | | | |
| <p>・ 固定資産台帳において、公有地の用途や売却可能区分等を開示することで、未利用資産や売却可能資産の情報を「見える化」し、公有資産の有効利用や売却の検討に活用</p> <p>・ 財政状況資料集において、2015年度決算より、固定資産台帳の整備に合わせて、施設類型ごとの一人当たり面積等を公表し、各地方公共団体における施設類型ごとの公共施設の保有量について「見える化」</p> | | | | | | | | | |
| <p>《総務省》</p> | | | | | | | | | |
| <p>固定資産台帳が整備され保有する財産の状況が網羅的に把握された時点で、保有する財産の活用や処分に関する基本方針について検討</p> | | | | | | | | | |
| <p>《総務省》</p> | | | | | | | | | |
| | | | | | | | <p>(再掲) 公共施設等総合管理計画を策定した地方公共団体数 【目標：2016年度末までに100%】</p> <p>(再掲) 固定資産台帳を含む統一的な基準による地方公会計を整備した地方公共団体数 【目標：2017年度末までに100%】</p> | | |

経済・財政再生計画 改革工程表

| | 集中改革期間 | | | | 2019年度 | 2020年度～ | KPI (第一階層) | KPI (第二階層) |
|--|---|-----------------|--------|-------------------------------|-------------------------------|---------|--|---------------|
| | ～2016年度 《主担当府省庁等》 | 2017年度 | 2018年度 | | | | | |
| | 通常国会 | 概算要求 税制改正要望等 | 年末 | 通常国会 | | | | |
| 国 公 有 資 産 の 適 正 化 | <④ 国公有財産の最適利用を加速、国公有地の未利用地の売却・有効活用の推進> | | | | | | | |
| | 【未利用資産等の活用促進】 ■未利用資産等の活用促進 | | | | | | | |
| | 国有地について、国は国有地の管理・処分の基本方針に基づき、公用、公共用優先の原則に基づく地方公共団体からの優先的な利用要望の受付け、利用要望が無い場合は一般競争入札により処分 | | | | 取組状況を踏まえ、引き続き国有地の有効活用を推進する | | (再掲) 公共施設等総合管理計画を策定した地方公共団体数 【目標：2016年度末までに100%】 | |
| | 《財務省》 | | | | | | | |
| | 公有地について、国は地方公共団体における固定資産台帳の整備状況を毎年フォローアップしつつ、先進的な取組事例を把握して横展開 | | | | 取組状況を踏まえ、引き続き固定資産台帳の有効活用を支援する | | (再掲) 固定資産台帳を含む統一的な基準による地方公会計を整備した地方公共団体数 【目標：2017年度末までに100%】 | 国有地の定期借地件数 |
| | 《総務省》 | | | | | | | |
| 民間事業者も参画した公有財産の有効活用を促進するため、民間提案を活用した取組等の先進的な事例を把握して横展開 | | | | 取組状況を踏まえ、引き続き公有財産の有効活用を支援する | | | ※目標は設定せず、件数をモニターする | |
| 《関係省庁》 | | | | | | | | |
| ■地域における国公有財産の最適利用に向けたプランの策定と定期的な点検 | | | | | | | | |
| 全市町村等と財務省財務局・財務事務所等互いに連携窓口を設置、一件別情報の提供、協議会の設置、情報共有等による最適利用について実現可能性を検討し、最適利用プランの策定を行う(2015年度～) | | | | 取組状況を踏まえ、引き続き国公有財産の最適利用を推進 | | | | |
| ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ | | | | | | | | |
| 各地域の国公有財産最適利用の進捗状況をフォローアップし公表する。なお、有効活用に当たっては、立地適正化計画が策定されている区域については同計画を踏まえて行う | | | | 引き続き国公有財産の最適利用についてのフォローアップを実施 | | | | |
| 《財務省、総務省、国土交通省等》 | | | | | | | | |